

ベトナム／ENTECH Hanoi 2015 出展報告

中野 光一（九州工業大学大学院 生命体工学研究科）*

1. はじめに

2015 年秋、(公財) 西日本産業貿易コンベンション協会と「ENTECH Hanoi 2015」の主催者側である韓国の BEXCO (Busan Exhibition & Convention Center) とのビジネスイベント MICE (Meeting, Incentive, Conference or Convention, and Event or Exhibition) を軸とした覚書の締結が予定されていることから、ベトナムで開催される環境展「ENTECH Hanoi 2015」に (公財) 西日本産業貿易コンベンション協会として出展する運びとなり、ブースの一部が九州内企業に開放されることとなった。

そして、当社も会員企業となっている北九州環境ビジネス推進会 (KICS) が 1 メンバーとして参加することとなり、同会のご支援のもと、環境ビジネス分野の交流を目的として、筆者に参加の機会が与えられた。そこで本報告では、ENTECH Hanoi 2015 の概要の他、訪問した各機関・企業の概要等について以下に述べる。

2. ベトナムと福岡・北九州の近況

ベトナムは、人口約 9,250 万人で、東南アジア諸国連合 (ASEAN : Association of South - East Asian Nations) に加盟している社会主義共和国である。インドシナ半島東部に位置し、その国土は南北 1,650km、東西 600km に広がり、南北のデルタ地帯には人口の 7 割が集中している。北のデルタは紅河 (ソンコイ川) によるもので、首都ハノイ市のほか港湾都市ハイフォン市が位置し、一方、南のデルタはメコン川によるもので、最大の都市ホーチミン市を擁している。

また、ベトナムは、アメリカの投資会社ゴールドマン・サックス社が 2005 年の経済予測レポートの中で報告した BRICs に次ぐ成長が期待される新興国 N-11 (ネクストイレブン) に名を連ね、世界のものづくりセンターとして発展しようとしており、AFTA (ASEAN 自由貿易地域) の推進に伴って ASEAN 域内への輸出拡大が見込める点、チャイナリスクの回避などから、日本や韓国などの投資進出も盛んになってきている。

福岡県が 2008 年にベトナムの首都ハノイ市と友好提携を締結して以来 7 周年を迎え、2014 年には北九州市がハイフォン市と姉妹都市協定を締結すると共に、水ビジネスにおいてハイフォン市と提携したことなどから、日本の中小企業や九州の得意とする環境技術に対してもベトナム側からの関心が高まってきている。

表 1 訪問先各機関・企業一覧

No.	訪問先各機関・企業
1	ハノイ市天然資源・環境局 (Hanoi Natural Resources and Environment Department)
2	ベトナム農業・農村開発省 (Technology and Quality application Center for Agricultural Products)
3	ベトナム天然資源・環境省 (Ministry of Natural Resources and Environment, Vietnam Environment administration Center for Environmental Consultancy and Technology)
4	Joint Stock Company

3. 訪問スケジュール等概要

- (1) 日程：2015 年 5 月 19 日 (火) ～23 日 (土)
- (2) 参加者：18 名
- (3) 訪問地：ベトナム社会主義共和国 ハノイ市
- (4) 訪問先各機関・企業：ビジネスマッチングとして企画された訪問先各機関・企業の一覧を表 1 に示す。

4. ENTECH Hanoi 2015 の概要

ENTECH Hanoi 2015 の概要を以下に示す。

- (1) 正式名称：The 7th International Exhibition Fair on Environment and Energy Technology
- (2) 開催期間：2015 年 5 月 20 日 (水) ～22 日 (金)
- (3) 開催場所：Hanoi International Center for Exhibition (ICE ハノイ国際展示場)
- (4) 会場面積：7,000 m²
- (5) 出展企業数：131 社、232 ブース (7 カ国参加)
- (6) 対象分野：エネルギー関連－電力・発電関連、エネルギー効率、エネルギー関連インフラ、再生エネルギー、原子力、ガス／環境関連－廃棄物処理、排水処理、大気汚染防止、リサイクル
- (7) 来場者数：17,100 名
- (8) 主催：BEXCO, Global Expo, ハノイ省エネルギーセンター (Hanoi Energy Conservation Center)
- (9) 後援：産業通常支援部、釜山広域市、ハノイ人民委員会、ベトナム産業貿易部、ベトナム科学技術部 他

5 月 20～21 日は、ENTECH Hanoi 2015 にて KICS の宣伝活動を行うとともに、関係パンフレット (約 100

表 2 ENTECH Hanoi 2015 出展ブース参加企業一覧

No.	参加企業・行政・事務局
1	イーアイエス㈱
2	北九州環境ビジネス推進会（KICS）
3	フジクリーン工業㈱
4	㈱正興電機製作所
5	㈱ATGREEN
行政	福岡県 環境部 環境政策課
事務局	（公財）西日本産業貿易コンベンション協会



図 1 ENTECH Hanoi 2015 展示会場の様子

部）を配布することができた。ただ、郵便・宅配便事情は、あまり良くないようで、国際宅配便で送付した資料は 1 日遅れて到着した。ENTECH Hanoi 2015 そのものは、非常に盛況で、5 月 21 日には、ベトナム国営テレビ放送で紹介された。表 2 に ENTECH Hanoi 2015 出展ブース参加企業一覧を示す。また、図 1 に ENTECH Hanoi 2015 展示会場の様子を示す。

5. 配布資料

事前に作成した展示ポスターの他、当方からのニーズやシーズを伝える為、北九州環境ビジネス推進会の英文資料（パンフレット及び会員名簿）やメンバー企業から提供いただいた各社英文パンフレット、訪問先の各機関・企業へのプレゼン用資料の PDF 版コピー、九州工業大学関連資料等を持参し、来場者や訪問先の各機関・企業に配布した。

6. 訪問した各機関・企業の概要

訪問した各機関・企業からは、大変貴重な情報をご提供頂いた。ここでは、その一部を事例として紹介する。

6.1 ハノイ市天然資源・環境局

ハノイ国際空港へ到着した 2015 年 5 月 19 日は、ちょうどホーチミン氏の誕生日に当たるとのことで、街中の各商店は国旗を掲げ、道路の中央分離帯にも国旗が一定間隔で設置されており、ちょっとしたお祭り騒ぎでにぎわっていた。同日午後、福岡県環境部環境施策課殿の企画で、ハノイ市役所を訪問し、ハノイ市天然資源・環境局副所長の Pham Van Khanh 氏および関係 4 氏に KICS 副代表幹事としてプレゼンを行うと共に、準備し



図 2 ハノイ市天然資源・環境局訪問の様子

てきた英文パンフを配布した。筆者のプレゼンに関連して、副所長から、ハノイ市で必要な技術を中心に、以下のようなご回答を頂いた。

- ・現在、排水／污水处理技術は、汚水の 20% 位しか適用されていない。
- ・割り箸を炭化して浄水を製造する技術は、面白い。ベトナムには繊維質の多いトウモロコシや稲わらなどが多量にあるので、これを応用できないだろうか。
- ・ダイオキシンの迅速な測定技術は、大変興味深い。
- ・枯葉剤による奇形児の発生問題は現在も続いており、この解決策を今も希求している。
- ・日本（北九州市）では、下水余剰汚泥はセメントの原料にされているそうだが、ハノイ市では下水余剰汚泥は埋め立てている。
- ・ベトナムには約 800 の池や湖があるが、残念ながら生活排水で汚染されている。
- ・ODA（日本政府開発援助）による水処理プロジェクトは、ハノイ西湖で 7,500～55,000m³/day の実績がある。

6.2 ベトナム農業・農村開発省

5 月 22 日の午前は、（公財）西日本産業貿易コンベンション協会殿の企画で、ベトナム農業・農村開発省（<http://www.vingroup.net>）を訪問させていただき、KICS 副代表幹事としてプレゼンを行ない、英文パンフレットを配布した。筆者のプレゼンに関連して、農業・農村開発省の Thai Hong Xuan Nguyet 氏および Ngoc Bich Long 氏から、以下のご回答・ご要望を頂いた。

- ・コメは重要な輸出品目であるが、生産量の変動により価格は大きく変動する。今後は、計画栽培による農業を志向している。
- ・ハイテクやバイオ関連技術の導入のために、農業関連企業とのマッチングも希望している。
- ・栽培技術や品種改良技術に関するニーズもあり、これらの導入により高品質な農畜生産品ができれば、ベトナムは日射量に恵まれているので、ベトナム市場のみでなく、日本へ輸出したい。



図3 ベトナム農業・農村開発省訪問の様子



図4 ベトナム天然資源・環境省訪問の様子

- ・洋上風力発電も重要な技術の1つである。
- ・ホームページで必要な国内プロジェクトを確認できる。
必要に応じて、法的文書を提供する。

6.3 ベトナム天然資源・環境省

5月22日の午後は、ベトナム天然資源・環境省 (<http://www.cect.gov.vn>) を訪問させていただき、同様に KICS 副代表幹事としてプレゼンを行ない、準備してきた英文パンフレットを配布した。

ベトナム天然資源・環境省の Nguyen Minh Cuong 氏および Nguyen Trong Cuu 氏からは、現在の問題点、要望・コメント、将来動向と今後のスケジュールとして、以下のご指摘・ご提案を頂いた。

＜現在の問題点等＞

- ・大気汚染防止技術（発電は石炭火力が主力である。）
- ・汚泥凝集技術（汚染されている川、池、湖が多い。）
- ・固形廃棄物処理技術

＜要望・コメント等＞

- ・日本のようにレベルの高いコンサルティング技術希望。
- ・コストの安いコンサルティング技術希望。

（例 ベトナム：15～20 \$/day, 日本：50～70 \$/day）

＜将来動向と今後のスケジュール等＞

- ・各地方へ政府の予算を配分する方法は、日本と同じく法制化しようとしている。
- ・2015年9月21日～24日の予定で、天然資源会議（ハノイ国際会議場）を開催予定。
- ・2016年ベトナム天然資源・環境省主催の国際見本市が開催される予定であり、参加を募集している。

6.4 Joint Stock Company

また、ゼネコンの Joint Stock Company も訪問し、プレゼンを行ない、関係資料を配布した。土木・建築関連のゼネコンで、道路の敷設等も行っており、VU DUY PHAN 氏によると、未だに旧ソ連の GOST 規格が生きている箇所があるとのことである。

7. 所感

ベトナムは、南北戦争以来の歴史に基づく国内事情があり、完全な民主化にはまだ時間を要すると思われるが、日本人に対しては大変友好的な国である。日本企業が進出するにあたり、地理的な立地条件の外、水・電気・水道・ガスなどのユーティリティの確保も重要な問題である。ベトナム農業・農村開発省訪問時には、停電が発生したにもかかわらず、特に現地では驚いた様子はなかった。日常的に停電が発生しているのか否かは不明であるが、電気・水道・ガスなどのユーティリティの安定性は、その確保と同時に重要な問題であり、事前の検討を要する優先事項と思われる。

また、ベトナムは中国の南方に位置し、山脈や季節風の影響で PM2.5 の被害はあまりないと言われているものの、やはり、石炭を中心とした火力発電やバイク中心の交通事情により、大気汚染は社会問題の一つと考えられる。一方で、先述の通りベトナムには 800 を超える湖（池）が存在し、車やバイクの走っていない毎朝 5 時頃から、その湖（池）の周辺でエアロビクス、社交ダンス、早朝マラソン等が行われていることで、国民の健康意識の高さがうかがえる。従って、将来的には、健康食品や健康器具産業の潜在需要が見込めると考えられる。

今回の展示会への参加は、現地ベトナムを訪問し、関係省庁や市担当局と直接意見交換し、相手側の生の声を聴くことができるという大きなメリットがあった。また、展示会では特に時間の制限もなく、相手側とコミュニケーションをとることができ、意義深いものであったと思われる。

8. おわりに

まず、相互にニーズとシーズ（メリットとデメリット）を出し合い、その結びつきを共に理解することがビジネス交流をはかって行くためには必要となってくる。そして、利益を相互に分ち合える関係を築きながら、気候、交通、人口、労働力とその質（教育レベ

ル), インフラ (水道, 電気, ガス), 医療・福祉施設, 現地行政, 税金, 事業に関する法規・規格など様々な立地条件に関する問題を検討・解決していく必要がある。実質的には, 相手方地域の歴史や文化をも相互理解しあえる十分なコミュニケーションの積み重ねが重要と思われる。今後, 海外進出していく場合には, 単に経済性や公平性のみではなく, 環境性を十分に配慮しながら相手国において社会的責任を果たすことのできる企業が真に望まれていると感じた。将来, 以上の報告が皆様のお役にたてば幸いである。

<謝 辞>

本ベトナム／ENTECH Hanoi 2015 出展に関してご理解とご支援を頂きました北九州環境ビジネス推進会 (KICS) の鶴田暁会長をはじめ幹事および会員企業の皆様に感謝申し上げます。また, いろいろとお世話になりました (公財) 西日本産業貿易コンベンション協会事業部長の井崎淳弘様, 同事業課長の古賀敦之様, 同事業課の高崎洋様, 福岡県環境部環境施策課企画広報監の池田光政様, 同主事の諸藤俊様, そして, 参加者の皆様, ベトナム語通訳をはじめ, 現地でお世話になりました Raycean, Inc. の皆様や Welcome Reception にご招待くださいました BEXCO の皆様に感謝申し上げます。